

# Welウェルなかがわ

WelはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

第81号

発行/2020.9



赤い羽根  
共同募金

10月1日▶12月31日

10月1日～ じぶんの町を良くするしくみ。

## 赤い羽根共同募金

### がはじまります!

12月1日からは、歳末たすけあい募金もあわせて行われます

共同募金は10月1日から全国一斉に行われる募金活動で、住民の皆さまの自発的なたすけあいの精神に支えられた民間の福祉活動を支援するための募金です。

集められた募金は、主に中川区の福祉のために役立てられます。

また、大規模な災害が起こったときの備えとして、募金額の一部が愛知県共同募金会で積み立てられます。



インターネットで詳しい共同募金の使いみちを見ることができます  
赤い羽根データベース「はねっと」  
<http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>

#### 令和元年度に行われた事業

- 地域福祉推進協議会への助成
- ふれあい給食サービス事業への助成
- 初級手話講座の実施
- 学童保育所への助成
- 中川区「地域の底力を応援」助成事業の実施 など



#### 令和元年度の募金総額

**10,418,905円**

共同募金は、翌年度の使いみちの計画をたて、募金を募る仕組みです。よりよい地域づくりのために、みなさまのあたたかいご協力をお願いいたします。

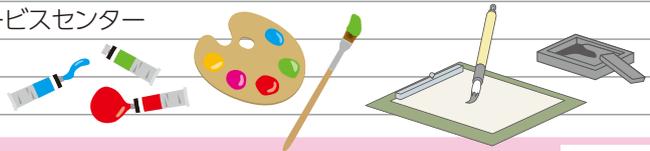
#### 令和2年度 目標額

**10,505,000円**

### 「赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール」

共同募金運動の一環として、小中学生を対象とした書道、ポスターの作品コンクールが行われます。優秀作品については、下記の日程で展示予定です。

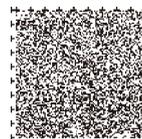
10月7日(水)～10月13日(火)	午前10時～18時まで(最終日は正午まで) NHK名古屋放送センタービル1階 プラザウェーブ21で展示(愛知県共同募金会入賞作品のみ)
10月19日(月)～10月29日(木)	中川区在宅サービスセンター
11月2日(月)～11月13日(金)	中川区役所
11月18日(水)～11月30日(月)	富田支所



#### 今号の内容



赤い羽根共同募金がはじまります! .....	1	子ども特急便 子どもの声が届くまちづくり .....	3
中川区地域福祉推進協議会ニュース .....	2	新型コロナウイルス関連記事～新たなつながり方を模索?～ .....	3
広見学区・八幡学区・五反田学区 地域福祉活動計画ニュース .....	3	災害に備えよう! .....	4
『オープンカフェ ワーキング グループ』		令和元年度収支決算 .....	4
		寄付のお礼とご案内 .....	4



SPコードを載せました。

## 中川区地域福祉推進協議会ニュース

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自粛されていた各学区地域福祉推進協議会の活動が感染予防対策を講じながら、少しずつ再開されています。



### 野菜の出張販売が始まりました!

広見学区

7月より毎月2回(第2・第4日曜日)9時からお昼ごろまで、業務用野菜の卸売業者(ECO EARTH)さんの協力を得て、野菜出張販売が始まりました。

買い物に行きたくても、行くことが出来ない…という高齢者の方のために、広見学区推進協議会:古村副会長から声をかけ実現しました。新鮮な野菜を提供されており、会場には、高齢者の方だけではなく、お子様連れの方もみえていて、賑わっていました。

ECO EARTHの馬場 泰輔さんは、「たくさんの方が買い物に来てくださって嬉しい」とおっしゃっていました。このような地域の方と企業さんとのつながりで生まれる活動が、これからもたくさん増えていくといいなあと思います。



馬場さんと古村副会長

出張販売  
日時・会場

第2日曜日 午前9～12時 広見学区集会所前(広住町10-50)  
第4日曜日 午前9～12時 しおがま神社境内(西日置1-7-10)  
※雨天時の会場→(株)ECO EARTH(柳堀町3-24)

ふれあいいきいきサロン

### 「サロン和」

八幡学区

八幡学区地域福祉推進協議会が主催している「サロン和」は、清涼園デイサービスセンターの休業日を活用して実施されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の利用が難しくなったため、学区内にある『珈琲屋らんぷ 二女子店』の協力を得て開催されました。参加者の皆さんは、美味しいコーヒーを飲みながら、久しぶりの再会を楽しまれました。やっぱり、顔を合わせることで大事ですね。



ふれあい給食サービス事業

五反田学区

### 『ふれあい昼食会』を配食に

五反田学区地域福祉推進協議会では、一人暮らしの高齢者を対象に、コミュニティセンターで開催していたふれあい昼食会を配食に変更して実施されました。

参加者の皆さんは、毎月、民生委員の皆さんによる手作りのあたたかい食事を楽しみにしていましたが、新型コロナウイルスの影響により、昼食会は中止されています。

以前のような昼食会は開催できなくても、配食に変更し、昼食会に参加されていた皆さんに、直接“食”が届けられています。

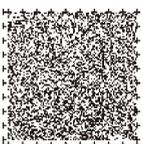


#### ふれあい・いきいきサロンとは…

高齢者や障がい者、子育て中の親子などが、身近な場所で気軽に仲間づくりや生きがいがつくりを行い、地域でいつまでもいきいきと暮らせることを目指す交流活動です。

#### ふれあい給食サービス事業とは…

高齢者や障がい者の方々のふれあいを目的に、小学校区ごとに設立された地域福祉推進協議会などが中心となり、コミュニティセンターなどに集い共に食事をして、おしゃべりや交流を楽しむ食事会です。



## 第4次中川区地域福祉活動計画ニュース



### 『オープンカフェ ワーキンググループ』



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、見合わせていた地域福祉活動計画のワーキンググループも活動を再開しました。

第4次地域福祉活動計画のオープンカフェワーキンググループは、かつての縁側の風景のような、気軽に立ち寄れるポカポカ温かいつながりの場所として、オープンカフェというより開かれた形式での場所づくりを進めてきました。

新型コロナウイルスの感染予防の観点から『密』を避けながらできる新たなつながり方として、あなたの地域でも屋外のオープンカフェをしてみませんか？ テントや屋外テーブル・椅子、オープンカフェののぼりなどを持参し、ワーキンググループメンバーと一緒に開催のサポートをさせていただきます。

以前の“えんがわ”のように気軽に腰を掛けて、楽しい世間話をしませんか？



### 子ども特急便

## 子どもの声が届くまちづくり

新型コロナウイルス感染拡大対策に関する政策によって、子どもたちの過ごす環境が大きく変容しました。

このような非常期には、普段抱えている課題や実情が表出します。普段から子どもたちの身近にいて子どもたちの活動を支えている私たちは、地域の一員である子どもたちが地域社会から置き去りにされないよう、この非常時禍の子どもたちの声を直接間接に聴き取りました。すると小学校高学年、中高生からは、「遊ぶ場所がない」「相談する場所がない」「主食は菓子類」などの声が届き、また保護者からは「この状況が続くと、虐待してしまうと思う」などの声が届きました。しかし、普段からかかわりのない子どもたちや幼児・低学年層の声は、あまり拾うことができませんでした。

意識がある大人との関わりがない子どもの声は拾えないという、こうした実情を受けて、私たちは、地域全体がその意識を持つことの必要性を発信していきたいと思いました。そして、届いた声の需要に回答した対話のやりとり・食・物資を届けていこうと。そうして生まれたのが「子どもの声が届くまちづくり」のしくみづくりと「子ども特急便」です。地域の活動者・関係機関と連携して子どもの声を拾うしくみづくりをしながら、子どもに直接アウトリーチし、必要なものを届けていきます。(2020年5月1日から始動)

今回の新型コロナウイルス感染拡大は、これまで経験のしたことのない状況です。社会の混乱のなか子どもたちにとっては、何もかもが突然の出来事です。そんな中、言葉にならない子どもたちの声に寄り添い、対話を通して、代弁し社会につなげ問題を解決していきたいと思っています。こうした関係性・つながり・場づくりが、非常時だけでなく、平常時の地域の支えあいにつながることを願い活動を継続していきます。



身近に気になる子ども・世帯などありましたら、下記までご連絡ください。

特定非営利活動法人  
こどもNPO(中川ブロック)  
コーディネーター/根岸

TEL 052-352-3564  
(中川地区事業連絡先 中川児童館)

FAX 052-848-7390  
(特定非営利活動法人こどもNPO事務局)

メール event@kodomo-npo.or.jp  
(特定非営利活動法人こどもNPO事務局)



## ～新たなつながり方を模索？～



新型コロナウイルスの感染拡大は、地域住民同士の交流や見守り、生きがいづくりを目的に実施されてきた地域福祉活動やボランティア活動にも影響を及ぼし、外出自粛や人との接触削減が求められたことにより休止を余儀なくされました。こうした活動に支えられてきた方々は社会参加の機会を失くし、閉じこもりがち生活になってしまうなどの課題が生じています。

今後、新しい生活様式へ移行していくことに併せて、地域福祉活動等も新たな取り組みが求められるこの頃ですが、例えばこんなつながり方はどうでしょうか？

### 屋外で身体を動かしてつながろう！

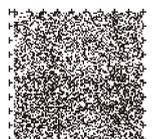
自宅で過ごす時間が長くなり、身体を動かす機会が減ると、身体機能の低下や気持ちが内向的になりやすいので注意が必要。

### 少人数でもつながろう！

地域のサロン等の本来の目的は、お互いに「つながりあい・気にかけて合う」ことです。会食ができなくても、楽しい時間を少人数かつ短時間で共有してみたいかがでしょうか。

### 配布物や届け物でつながろう！

集いの場の参加者に向けて、お便りや脳トレプリントの配布はどうでしょうか。配布物を通じてちょっとした見守り・困りごとに気づくことができるかもしれません。



# 災害に備えよう!



令和2年7月豪雨災害では、九州や中部地方など各地で災害が発生し、多くの方が被災されました。9月は防災月間ということもあり、中川区役所の防災担当に災害への備えについてお話を伺いました。

近年、住民にわかりやすく、5段階の警戒レベルで防災情報が提供されるようになりました。警戒レベル3では、高齢者など避難に時間がかかる方は避難を開始することとなります。あらかじめハザードマップを確認しておき、自ら避難の判断をしてください。自宅が安全な場合は自宅に留まることも避難行動の一つです。

また、緊急の場合には、指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断で命を守るための最善の行動をとることが重要です。

自宅が被災して生活できない場合、新型コロナウイルス感染症対策として避難所には次のものをプラスして持参しましょう。

- 体温計 ● マスク ● アルコール消毒液 ● スリッパ ● ごみ袋



## 令和2年7月 豪雨災害義援金を募集しています

お寄せいただいた義援金は被災県の状況に応じて被災者へ配分されます。また、特定の被災県を指定してご寄付をされたい場合は各県共同募金会のホームページをご参照ください。

※直接、災害義援金指定口座へ振り込むこともできます。

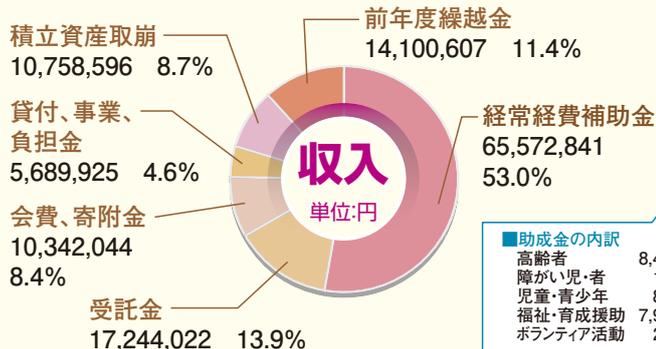
※各県で受付期間が異なりますのでご注意ください。

### 受付場所

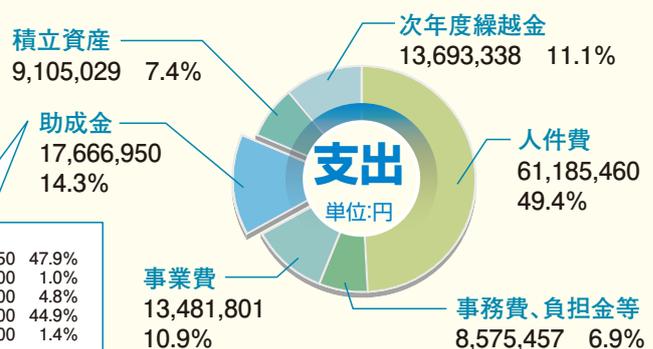
中川区共同募金委員会  
(中川区社会福祉協議会内)

## 中川区社会福祉協議会 令和元年度 収支決算

収入合計 123,708,035円



支出合計 123,708,035円



高齢者	8,450,950	47.9%
障がい児・者	185,000	1.0%
児童・青少年	844,000	4.8%
福祉・育成援助	7,936,000	44.9%
ボランティア活動	251,000	1.4%

## 寄付のお礼

令和2年5月～7月

寄付金および寄付物品は、中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- 匿名(2件) 様

〈事業者の皆さまへ〉 社会貢献の一環として、寄付金の他、地域のイベント等で使用させていただく物品やお菓子のご寄付も募っています。ご関心のある事業者の皆さま、ご連絡お待ちしております。

編集・発行

## 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

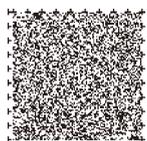
〒454-0875 名古屋市中川区小城町1丁目1-20

TEL (052) 352-8257 FAX (052) 352-3825

メールアドレス nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp

ホームページ <http://www.nakagawashakyo.jp>

区内のイベントやボランティア情報案内、研修室の貸出などを行っています。お気軽にお問合せください!



＝この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました＝

※Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。